

「新生児特別定額給付金」を支給します

圏 子育て支援課 子育て支援係
☎573-5652



新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な不安を抱え産前産後を迎えた子育て世帯への支援として、国の特別定額給付金の対象となります。

かつた令和2年4月28日以降に生まれ、伊達市に住民登録された新生児を対象に「新生児特別定額給付金」として10万円を支給します。



▼対象となるお子さん

令和2年4月28日から令和3年3月31日の間に出生し、出生日から申請日まで引き続き伊達市に住民登録されているお子さん。
※上記の期間に転入されたお子さん、申請日前に転出されたお子さんは対象外となります。

▼給付対象者

出生日から申請日まで引き続き伊達市に住民登録されており、対象となるお子さんと同居している父または母

▼給付額

新生児1人につき 100,000円

▼申請方法

給付対象者には申請書類を送付しますので、同封の返信用封筒で返送してください。

必要書類

- ・新生児特別定額給付金申請書兼請求書
- ・申請者の本人確認書類の写し
- ・申請者の通帳等の写し

▼申請期限

令和3年4月30日

▼支給の決定

申請受付後、審査を行い、ご指定の口座に随時振り込みます。事前に支給決定通知を郵送しますので、支給予定日をご確認ください。

日本に住む全世帯参加の国勢調査がはじまります

圏 総務課 統計係 ☎575-1239



5年に一度の最も重要な統計調査「国勢調査」を、2020年（令和2年）10月1日現在で実施します。

「日本に住む人や世帯」について知ること、生活

環境の改善や防災計画など、私たちの生活に欠かせない様々な施策に役立てられる大切な調査です。市民みんなで参加して、日本の未来を作っていくきましょう。

新型コロナウイルス感染症対策

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、調査書類の配布や調査票の受け取りを、できる限り、皆さまと調査員が対面しない非接触の方法で行うようにしています。
- ・調査書類の配布にあたっては、調査員が皆さまのお宅を訪問しますが、調査の趣旨等の説明はインターホン越しに行い、調査書類は郵便受けやドアポストに入れるなどしてお配りします。ご不在の場合は、直接、郵便受けやドアポストなどに入れてさせていただきます。

調査票の配布

9月中旬から、調査員が各世帯を訪問し、調査票を配布します。回答は、できる限りインターネットで回答してください。（郵送回答可）

対象者

令和2年10月1日現在、日本に住んでいる人

調査票（紙）の回答期間
10/1[※] → 10/7[※]

インターネットの回答期間

9/14[※] → 10/7[※]

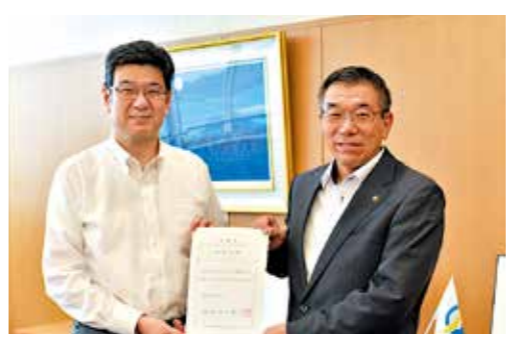
回答は簡単なインターネットで 国勢調査 2020

- 1 アクセスする**
ご自宅に調査書類が届いたら、
回答サイトにアクセスします。
国勢調査オンライン
- 2 ログインする**
調査書類の中の「インターネット回答利用ガイド」に記載されている「ログインID」と「アクセスキー」でログインします。
ログインID (8ケタ)
アクセスキー (4ケタ)
- 3 回答する**
画面の案内にそって、国勢調査に回答します。最後にパスワードを設定し、送信します。

市政アドバイザー・都市計画審議会委員に委嘱状交付

圏 都市整備課 都市計画係 ☎573-5620

都市計画について助言する市政アドバイザーの委嘱状交付式が、7月21日、市役所で行われました。東北大学災害科学国際研究所教授の奥村誠さん、元公益社団法人街づくり区画整理協会理事長の近藤秀明さんに市政アドバイザーの委嘱状を交付しました。



した。須田市長は「交通体系を活かして人とモノの集積ができる地域にし、経済活性化につなげたい。知識や経験を踏まえ、ご助言をいただきたい」と述べ、奥村さんは「伊達市は、まだこれから土地を利用できるポテンシャルがあるので、貢献していきたい」と抱負を述べました。任期は令和3年3月31日までとなります。

また、同日に伊達市都市計画審議会委員の委嘱状交付式が行われました。任期は令和4年6月30日までとなります。委員は、学識経験者や関係団体の代表、一般公募の市民などで構成され、会長に奥村誠さんが選出されました。

「見覚」で感じる「伊達のモモ」オンラインで桃をPR

圏 農政課 農政企画係 ☎573-5635

伊達市の特産のモモをPRするため7月16日、市内の生産農家と札幌市の中央卸売市場の関係者をオンラインでつなぎ、魅力を伝えました。また、8月1日、イオンスタイル名取農産物売場の関係者に、市長がオンラインでトップセールスを行いました。新

型コロナウイルス感染拡大により、例年行う試食を伴った「味覚」によるPRができないことから初めて企画されたもので、オンラインで桃畑から生育状況などを「見覚」で伝え、参加者は伊達のモモの由来を目で確認していました。

